

“笑い”をテーマに、人との関わりを考えるきっかけになりました。

道徳授業地区公開講座 11月6日(水) “日本一学校を回るお笑いコンビ”「オシエルズ」講演会

本校では、外部人材の活用を積極的に行うことで、学習活動の充実を図っています。今年の「道徳授業地区公開講座」では、お笑いコンビ「オシエルズ」さんをお招きして、“人を傷つける笑い・傷つけない笑い”をテーマに、講演&お笑いライブを開催しました。



軽妙なトークから始まり、「“笑い”は人のためにするもの、自分のためにするものは“ふざけ”である」ということを中心に、自身の少年時代の体験談やお笑いライブなど、様々な話題を挙げながら、相手のことを考えた“笑い”について、とてもわかりやすくお話いただきました。

その後、「“楽しい笑い”は、『相手とつながる』こと『相手をうけいれる』こと」ということを中心に、2~3人一組のゲームエクササイズを行い、交流することでの“笑い”の大切さを体験的に感じる事ができました。



今回のテーマはちょっと重い内容になるかと思われましたが、オシエルズのお二人は大学での講義を持っておられる“笑い”の専門家、さらに教員免許もお持ちとのことで、楽しくわかりやすく、それでいて中学生にも実感をもってその意味を理解できたように思いました。このたびはご講演いただき、ありがとうございました。

オシエルズ プロフィール

矢島 ノブ雄 さん、野村 真之介 さんで構成されるお笑いコンビ。芸人として舞台に立つ傍ら、全国の学校や企業で講演・研修・ワークショップ等を行っている(本年度は160校を予定)。



矢島 ノブ雄 さん

埼玉医科大学短期大学 非常勤講師。「オシエルズ」として活動しながら、人を笑わせること(楽しませること)において重要な「心理的安全性」の重要性を伝えるため、学校や幾魚油乙の研修・ワークショップ講師を努める。

野村 真之介 さん

群馬大学医学部 非常勤講師。「オシエルズ」として活動しながら、インプロ(即興演劇)通じた子どものコミュニケーション能力・表現力向上について研究している。